

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは、高金利通貨マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第7期末(2015年12月21日)

基準価額	11,838円
純資産総額	122百万円
第7期	
騰落率	△14.7%
分配金(税引前)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# プレミアム・カレンシー・オープン (1年決算型) (愛称 金利の羅針盤(1年決算型))

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2014年12月23日～2015年12月21日

## 交付運用報告書

第7期(決算日 2015年12月21日)

 **岡三アセットマネジメント**  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

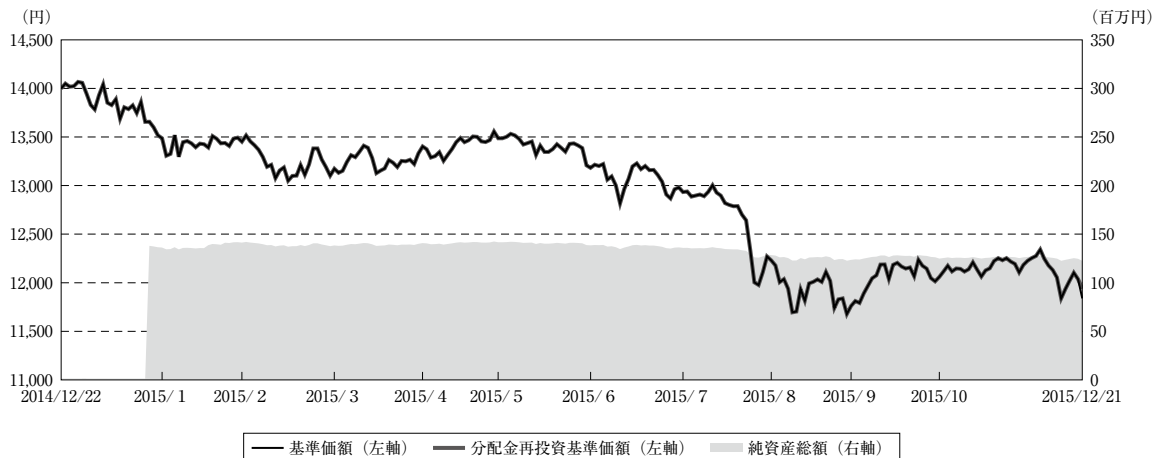
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2014年12月23日～2015年12月21日）



期 首：13,998円

期 末：11,838円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：△14.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2014年12月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「高金利通貨マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### （主なプラス要因）

- ・マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランドの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。他の投資対象国についても、利回りが上昇したものの、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。

#### （主なマイナス要因）

- ・投資対象通貨が対円で下落したことがマイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

（2014年12月23日～2015年12月21日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 130 (61) (63) (6)	% 1.002 (0.474) (0.485) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	30 (28) (2) (0)	0.235 (0.219) (0.013) (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合計	160	1.237	
期中の平均基準価額は、12,944円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

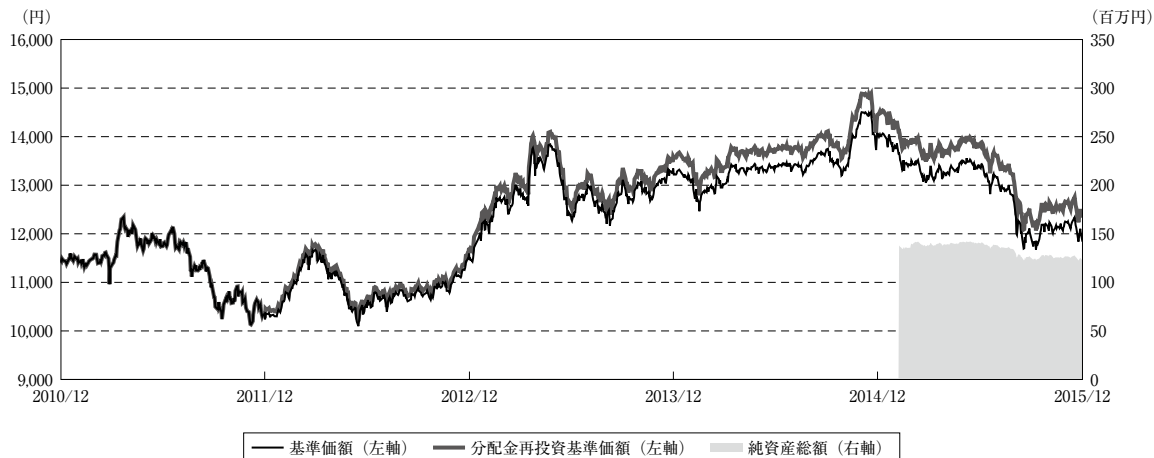
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年12月20日～2015年12月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2010年12月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年12月20日 期初	2011年12月20日 決算日	2012年12月20日 決算日	2013年12月20日 決算日	2014年12月22日 決算日	2015年12月21日 決算日
基準価額 (円)	11,451	10,240	11,458	13,220	13,998	11,838
期間分配金合計(税引前) (円)	-	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△9.7	12.9	16.3	6.6	△14.7
シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	-	△0.7	15.8	24.6	17.6	△2.9
GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・デバースファイド指数(円ベース)騰落率 (%)	-	△7.6	24.2	15.2	12.0	△10.2
純資産総額 (百万円)	1	1	1	1	1	122

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・デバースファイド指数（円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

## 投資環境

（2014年12月23日～2015年12月21日）

原油等の資源価格の下落により、世界的に物価上昇圧力が弱まったことや先進国の緩和的な金融政策により、先進国の債券利回りが低下した影響を受けて、オーストラリアやニュージーランドで債券利回りが低下しました。一方、新興国では、中国などの新興国の景気減速懸念や米国の利上げに対する警戒感の高まり等を背景に、新興国を中心に投資資金の流出の動きが強まったことや、ブラジルやメキシコでは通貨安防衛に向けて利上げが実施されるなど金融引き締めに向けた動きが見られたことから、全般に債券利回りが上昇しました。

為替相場は、日銀の金融緩和策によって投資対象通貨が対円で上昇していた反動に加え、中国の景気減速懸念やギリシャの資金繰り不安、米国の利上げに対する警戒感等を背景に、投資家がリスク回避姿勢を強めたことから、投資対象通貨が対円で大きく下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2014年12月23日～2015年12月21日）

<プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））>

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

○高金利通貨マザーファンド

（債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（通貨別投資比率）

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間はオーストラリアドルの比率を比較的高位としました。

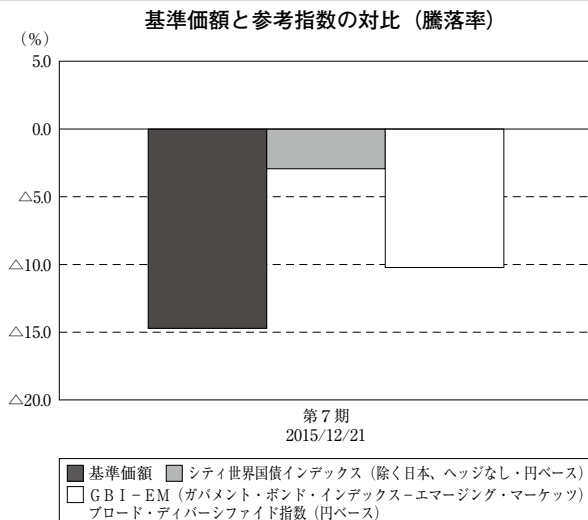
（国別投資比率および年限別投資配分）

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの国債に投資しました。当期間におきましては、オーストラリア国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年12月23日～2015年12月21日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。  
 (注) 参考指数は、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ダイバーシファイド指数（円ベース）です。

## 分配金

（2014年12月23日～2015年12月21日）

分配対象収益は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり100円（税引前）とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第7期
	2014年12月23日～ 2015年12月21日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	0.838%
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,197

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

債券市場につきましては、米連邦準備制度理事会（FRB）が緩やかなペースながらも利上げを継続すると見込まれることや新興国の一部では金融引き締めに向けた動きが見られていることから、利回りが上昇に向かうと予想されます。

為替市場については、米国の利上げへの警戒感に加え、新興国では格下げに対する懸念が残ることから、投資対象通貨の対円での不安定な動きが予想されます。しかし、国内投資家による積極的な海外投資や日銀の追加緩和への期待から、投資対象通貨の対円での下落余地は限定的であると考えます。

### （運用方針）

<プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））>

主要な投資対象である「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

#### ○高金利通貨マザーファンド

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、オーストラリアドルの比率を徐々に高める方針です。

## お知らせ

・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

- ①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編  
④トレーディング部を運用本部から分離

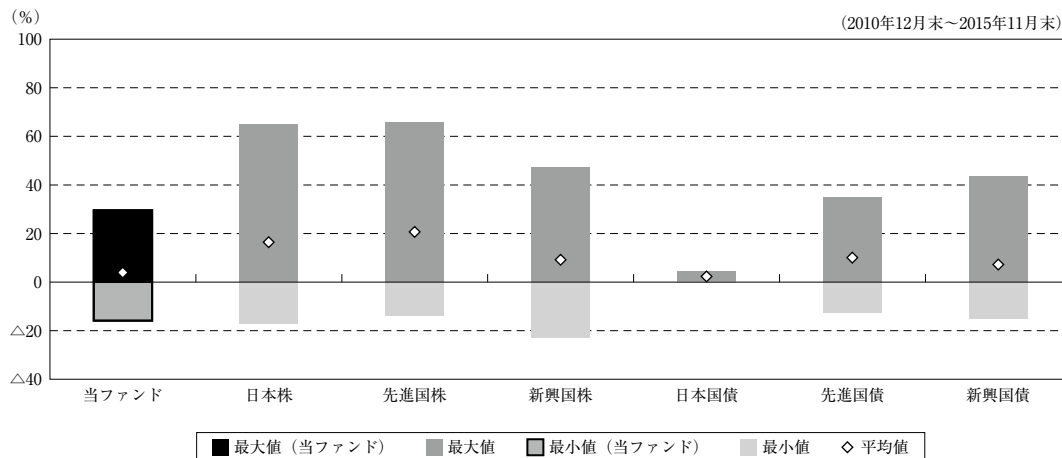
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年10月24日から、原則として無期限です。	
運用方針	高金利通貨マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用を行います。
	高金利通貨マザーファンド	通貨の選定に当たっては、投資対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し決定します。なお、投資対象国の金利水準、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し、必ずしも選定通貨が8通貨とならない場合もあります。また選定通貨の見直しは適宜行います。 ポートフォリオ全体のデュレーションは、原則として1年程度以内を基本とします。ただし、市場環境が大幅に変化した場合等には、1年程度以内とならない場合があります。
分配方針	毎年12月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	



（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.6	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△15.9	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△15.0
平均値	3.9	16.4	20.6	9.1	2.3	10.0	7.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2010年12月から2015年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2015年12月21日現在）

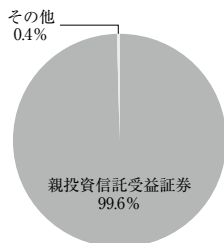
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
高金利通貨マザーファンド	% 99.6
組入銘柄数	1銘柄

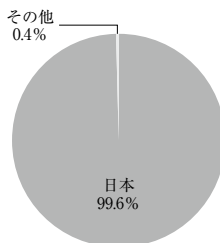
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

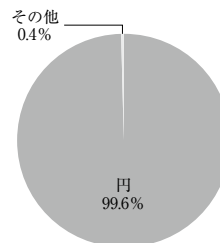
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 純資産等

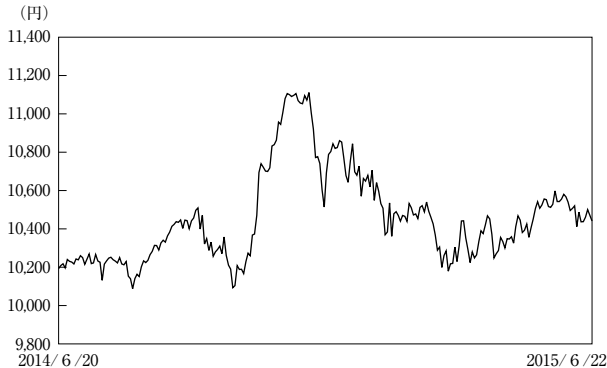
項目	第7期末
	2015年12月21日
純資産総額	122,556,762円
受益権総口数	103,525,259口
1万口当たり基準価額	11,838円

（注）期中における追加設定元本額は104,039,400円、同解約元本額は1,514,141円です。

組入上位ファンドの概要

高金利通貨マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月21日～2015年6月22日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用)	24 (23)	0.226 (0.219)
(その他)	(1)	(0.007)
合計	24	0.226

期中の平均基準価額は、10,484円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

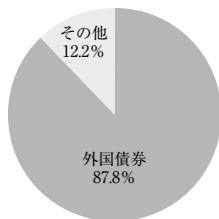
【組入上位10銘柄】

(2015年6月22日現在)

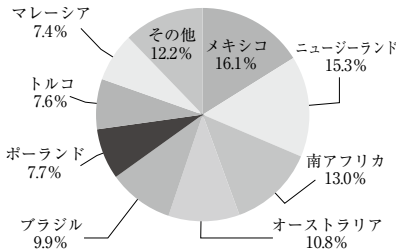
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MEXICAN BONOS 6.25	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	16.1
2 NEW ZEALAND GVT 6	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	15.3
3 REP SOUTH AFRICA 13.5	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	13.0
4 AUSTRALIAN GOVT. 4.75	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	10.8
5 BRAZIL NTN-F 10	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	9.9
6 POLAND GOVT BOND 5	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	7.7
7 TURKEY GOVT BOND 9	国債証券	トルコリラ	トルコ	7.6
8 MALAYSIA GOVT 3.835	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	7.4
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数		8銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。  
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

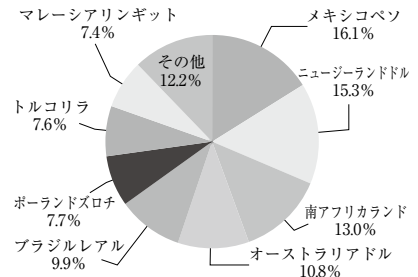
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。  
 (注) 通貨別配分については、組入債券の通貨別比率を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### <当ファンドの参考指数について>

G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P. Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。